

国際協力事業を通じて途上国の人材育成や
社会発展への貢献を認められ、
2021年中に表彰を受けた
JICA海外協力隊OVを紹介します。

Award Winners in 2021

— 表彰者 —

全国各地の多様な分野で帰国隊員が活躍しています。2021年に名誉ある賞を受賞したお二人を紹介합니다。

第9回蚕糸絹業提携確立技術・経営コンクール 会頭賞



あさい ひろお
浅井広太さん
(ネパール/村落開発普及員/2012年度3次隊)

2020年7月、浅井広太さんが「第9回蚕糸絹業提携確立技術・経営コンクール」の会頭賞を受賞した。同コンクールは、高度な養蚕技術や経営手法を駆使して純国産絹製品の生産販売活動に携わる養蚕農家や団体などに贈られる賞。浅井さんは東京都出身。京都大学在学中に農業に関心を持ち、卒業後に青年海外協力隊員としてネパールでキノコ栽培の普及に携わる。技術補完研修で群馬県富岡市や甘楽町の農家の指導を受けた縁で、帰国後の1年間、NPO法人自然塾寺子屋に籍を置いた。1次産業に携わる道を探るなか、「養蚕の後継者がいない」と聞き、16年に同町の地域おこし協力隊として養蚕を始めた。1年目は町が手配した空き家に住み小規模で蚕を飼い始め、2年目に養蚕農家だった住宅に移って作業環境を改善。地域おこし協力隊員の任期を終えた3年目は、富岡市が養蚕業の継承のためリフォームした住宅で本格始動。先輩農家に助言を受けながら、技術の向上と繭の生産量増加につなげ、春から夏にかけてJA甘楽富岡を通して繭を出荷。冬場は下仁田ネギと長ネギを作っている。



受賞コメント：

ネパールで出会った農家さんと群馬県甘楽町の農家さんの姿に憧れて、養蚕農家になろうと決めました。今まで支えていただいたたくさんの方々へ感謝します。日本とネパールの養蚕振興のためにこれからも精進します。

2020年度 ふるさとづくり大賞

総務大臣表彰(団体表彰)



「サワディー佐賀」
やまじ けんぞう
山路健造さん
(フィリピン/コミュニティ開発/2014年度2次隊)

2021年1月、山路健造さんが代表を務める市民活動団体「サワディー佐賀」が、地域活性化に貢献した個人や団体に贈られる、総務省「ふるさとづくり大賞」の総務大臣表彰(団体表彰)に選ばれた。山路さんは大学を卒業後、西日本新聞の記者を経て、協力隊に参加。コミュニティ開発隊員として、フィリピン南ピコールの農業事務所所属し、有機ごみの堆肥化や有機農業などを促進した。帰国後、佐賀県と世界を結ぶ国際交流活動に尽力し、18年にタイ人のネットワークづくりやタイ文化の発信を目的に「サワディー佐賀」を設立。タイ文化の発信、災害時のタイ語による情報発信、佐賀県を訪れるタイ人観光客へのおもてなしなどが評価され、受賞につながった。



2020年10月、佐賀県内で開催された「タイフェスティバル」会場での山路さんとメンバー

受賞コメント：

青年海外協力隊員としてフィリピンで“外国人”を経験したからこそ、日本で暮らす外国人住民が孤立せず、安心できればと活動を始めました。その活動が評価され、本当にありがたく思います。今後、さらに多くの外国人住民が活躍できる活動を続けていければと思っています。